



## 伝染病を広げないため家きんの移動に注意！

～農場間での鶏の移動は鳥インフルエンザ等を拡大させる危険性あり～

生きた家きんの移動や農場への導入は伝染性疾病の拡大要因となり、近年の海外の事例でも本病の流行の原因の一つと考えられています。

伝染病の発生、拡大リスクの増大を避けるためにも計画的な飼養管理に努めましょう。

### 【老廃鶏の移動がないような計画的な飼育を】

- ・ 老廃鶏とは・・・産卵率のピークを過ぎた家きん
- ・ 移動させることは・・・高病原性鳥インフルエンザ等の監視伝染病の拡大リスクを増大させるだけでなく、移動のストレスによる新たな疾病を誘発するおそれがあります。
- ・ 老廃鶏の衛生状態が不明のまま別の農場に移動させることは、厳に慎むべきです。

【万が一老廃鶏を導入する場合には、下記の事項を確認して下さい】



### 家きん移動の注意点

#### ○飼養衛生管理基準の遵守

導入もと及び導入先の農場において飼養衛生管理基準が守られていること

#### ○導入鶏の隔離観察

導入する農場では異常がないことが確認されるまでの間、隔離観察を

#### ○監視伝染病に感染しているおそれがないこと

高病原性鳥インフルエンザ、ニューカッスル病及びサルモネラ感染症等に感染しているおそれがないこと

#### ○適切な予防接種の実施

導入する鶏にニューカッスル病、マレック病等の予防接種が行われていること

鶏卵、鶏肉を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人へ感染することは世界的にも報告されていません。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

異常など確認された場合には、至急ご連絡ください。